

2022
11/19,20
sat ' sun

ヒグマ

フォーラム

in

旭川



共催：ヒグマの会
旭川市
旭山動物園
旭川市科学館

協力：NPO 法人カムイ大雪バリアフリー研究所
NPO 法人もりねっと北海道
後援：北海道上川総合振興局 ほか
イラスト：あべ弘士

2022
11/19,20
sat/sun
ヒグマ
フォーラム
in 旭川

街に出るヒグマ

アーバンベアと向き合うランドデザイン

ヒグマの市街地出現が全道で相次ぎ、人間からすれば「異常事態」ですが、この30年間の人とヒグマの関係からみると「当然の成り行き」とも言えます。その背景や現状、今後必要な対策などを考えます。

今回のフォーラムでは、旭川市と札幌市のヒグマ対策を対象に、行政担当者や専門家がアーバンベア出現の要因や自動カメラ・ヘアトラップ・ベアドッグなどを駆使した新たな対策を報告します。ヒグマの会からは、対策を支える人材や組織作り、普及教育などのランドデザインを提案します。

■フォーラム 11/19(土) 午後1時～5時(開場午後0時半)

旭川市市民活動交流センター CoCoDe(宮前1条3丁目、JR旭川駅裏)

定員：160名(事前申し込みが必要です。先着順。参加費無料)

フォーラム講演者と演題

ヒグマ情報増加の背景	釣賀 一二三 (道立総合研究機構)
旭川・市街地接近・侵入ヒグマの状況と対策	橋口 城児 (旭川市環境部環境総務課)
旭川・里山ヒグマの行動と広域対策	山本 牧 (NPO もりねっと北海道)
札幌市のヒグマ対策 ～さっぽろヒグマ基本計画の推進	清尾 崇 (札幌市環境局)
札幌・アーバンベアの遺伝情報と対策 ～現地調査とDNA分析から	早稲田 宏一 (NPO EnVision 環境保全事務所)
ヒグマ報道の現場から	幾島 奈央 (北海道放送)
ヒグマ管理の現状と課題	佐藤 喜和 (ヒグマの会事務局長・酪農学園大学教授)
アーバンベアと向き合うランドデザイン	坪田 敏男 (ヒグマの会会長・北大教授)
旭山動物園とえぞひぐま館がめざすもの 質疑	坂東 元 (旭川市旭山動物園園長)

■エクスカージョン 11/20(日) 午前

※人数制限のためヒグマの会会員限定です。一般の方はお申し込みいただけません。

旭川市内のヒグマ出現地と対策の状況、旭山動物園ガイドツアー、ヒグマトーク

定員：40名(事前申し込みが必要です。参加費無料)

■お申込み

コロナ対策のため事前申し込みで連絡先を伺います

お申込み方法1 QRコードをスマホなどで読み取り、お名前・連絡先を入力してください。

お申込みフォーム

お申込み方法2 Email または電話、ファクスでお申し込みください。



お申込み／お問合せ

E-mail higmax7@gmail.com (ヒグマの会)

TEL 0166-25-5350 **FAX** 0166-29-3977

(TELとFAX：旭川市環境部環境総務課。受付は10月14日(金)からです。お名前、ご住所、連絡先を明記してください)

Web Site <https://www.higumanokai.org>

